

タフライト®

タフライトはフロート板ガラスを約700℃まで加熱した後、ガラス表面に空気を吹きつけ、均一に急冷し表面に圧縮層を持たせた強化ガラスです。

※開口部の設計にあたってはガラス建材総合カタログ「技術資料編」の8-3-5.改訂版ガラスを用いた開口部の安全設計指針をご参照ください。

特長

1 強度

タフライトは風圧、水圧などの外力に対し、同じ厚さのフロート板ガラスに比べ3~5倍の静的強度を持つ強化ガラスです。

2 安全性

万一破損しても破片は鈍角の細かい粒状になります。フロート板ガラスのような鋭い破片が生じることがありませんから、危険性が大幅に減少します。

3 耐熱性

温度の急激な変化に対し、一般の板ガラスに比べ数倍の耐熱性を有します。



●アサヒビル吾妻橋ビル(東京)



●深川市立総合病院(北海道)
設計:山下設計・中原建築設計・大洋建築設備研究所JV

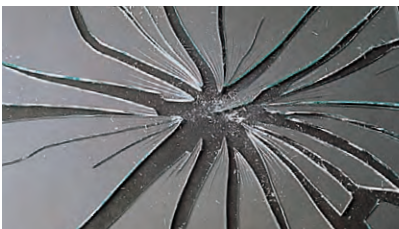
用途

- 1 階段まわりのフェンスやエスカレーターの腰板。
- 2 学校の窓・扉、浴室の間仕切など安全性が要求される場所。
- 3 ガラステーブル、ショーケース、間仕切などのインテリアおよび家具。
- 4 自動車、車両、船舶の窓。

破損状況の比較



タフライト



フロート板ガラス

●品種表

品 種	素板ガラス	呼び厚さ(ミリ)	最大寸法(mm)	最小寸法(mm)
タフライト	フロート板ガラス	4	2,200×1,200	300×200
		5	2,600×1,800	
		6	3,600×2,000	
		8	4,500×2,400	
		10	6,000×2,720	
		12		
		15		
19				

※熱熱線反射ガラス(レフライト)、高性能熱熱線反射ガラス(レフシャイン)を素板ガラスとした最大寸法は製品一覧P.195をご参照ください。
※上記以外の仕様、および使用上の条件や制限についてはお問い合わせください。
※ご使用になる寸法によっては、納期を必要とする場合がありますので、事前にお問い合わせください。